



今日のトピック

世界の「投信マネー」(2020年8月)

MMFからの流出傾向が続く

全体の流入超過額はMMFの流出で縮小

- 8月の投信マネーは全体で+60億ドル(7月+820億ドル)の流入超過にとどまりました。「MMF」が▲792億ドル(同▲20億ドル)となったことが主因です。次第に金融環境が正常化していると思われます。内訳は「債券」が+838億ドル(同+689億ドル)と流入が加速しました。一方、「金」などを含む「オルタナ」は+83億ドル(同+128億ドル)、「バランス」は▲25億ドル(同▲30億ドル)でした。「株式」は▲44億ドルと前月の+53億ドルから流出超に転じました。

債券ファンドは米国クレジットに加え、欧州にも流入

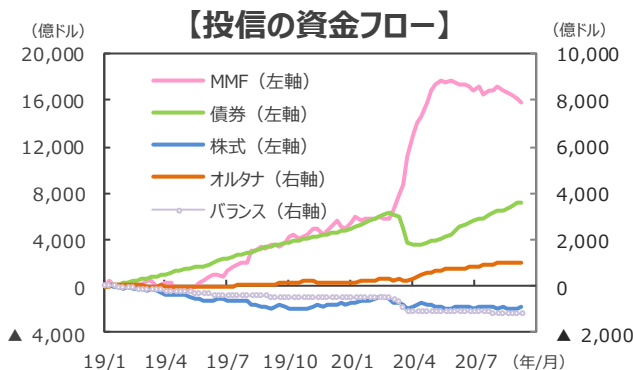
- 債券ファンドは「米国」を中心に流入が続いています。「投資適格社債」、「ハイ・イールド社債」といったクレジットファンドへの流入が目立ちます。加えて、欧州債券などへの流入が増加傾向となっています。

株式ファンドは流出超過額が縮小

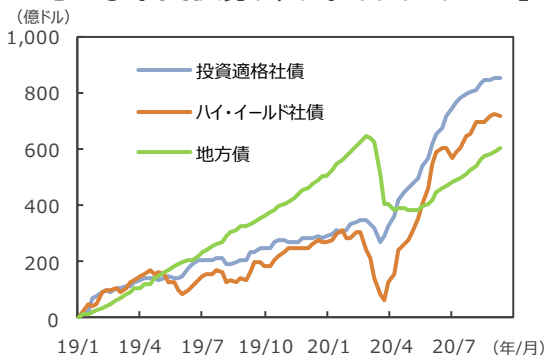
- 株式ファンドは「先進国」が▲1億ドル(同+53億ドル)でした。「北米」が▲158億ドル(同▲102億ドル)、「アジア(日本を含む)」が+13億ドル(同+44億ドル)等でした。一方、「新興国」は▲43億ドル(同▲290億ドル)でした。7カ月連続の流出超です。

9月第1週、株式ファンドのセクター別資金フローは「テクノロジー」が流出超

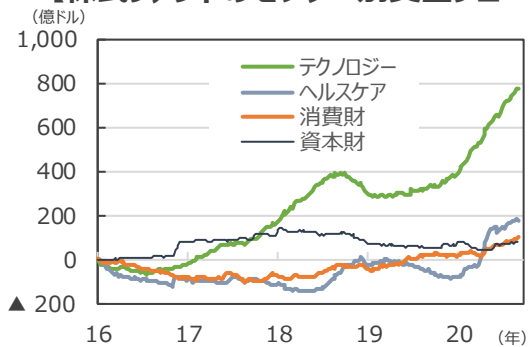
- 新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、世界経済は不透明感が強い状況です。こうした中、世界の株式ファンドをセクター別の資金フローで見ると、今年に入って「テクノロジー」に資金流入が集中しています。9月第1週は、「テクノロジー」が11週間ぶりに流出超に転じました。流出超過額は1.4億ドルでそれまでの週平均10億ドル台の流入超過に比べると少額です。ハイテクセクターの急ピッチな株価上昇の反動という側面もあって流出超となりましたが、今後、「テクノロジー」への流入が回復するかが注目されます。



【主な米国債券ファンドの資金フロー】



【株式ファンドのセクター別資金フロー】



(注) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2020年7月末現在39.8兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。データは上・中段の図が2019年1月2日～2020年9月9日、下段の図が2016年1月6日～2020年9月9日。週次ベース。各スタート時点からの累計。
(出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2020年9月9日 急落した米国株式市場

2020年9月9日 吉川レポート：世界経済と米長期金利上昇

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。